令和5年度 施策事前評価シート

施策責任者所属	産業振興課	電話番号	直通	989-5516	
基本目標	住みやすく働きやすい豊かなながいずみ				
政策	持続的に発展するまちの実現	施策分野	観光・交流		
施策分野の総事業費	前年度決算額	55,767 千円	今年度予算額	81,919 千円	

施策の進捗状況

	成果指標名称	年度	現状値	令和３年	令和４年	令和５年	令和６年	令和７年	単位	進捗評価
1	観光交流客数	目標値		210	210	210	280	320	千人	A
		実績値	287.0	209.0	253.0					
2	にぎわい交流イベントの開催数	目標値		5	7	9	15	25	回	C
		実績値	19.0	2.0	6.0					
3		目標値								
		実績値								
4		目標値								
		実績値								

総合評価	B：順調

事前分析

施策分野における これまでの 取り組みの概要	長泉わくわく祭りやさくらフェスタ等のイベント実施 長泉ママラッチ（タウンセールス）による情報発信 観光交流協会の運営支援、伊豆半島ジオパークの推進 ハイキングコース、案内標識等の観光施設整備 民間にぎわい交流イベントの開催支援 国内姉妹都市（長野県青木村）との交流を推進
施策分野における 背景・環境 及び抱えている課題	・令和４年12月、伊豆半島ジオパークがユネスコ世界ジオパークに再認定された。町の観光資源が構成資産として登録されており、鮎壺の滝を中心に、旅行事業者と連携して観光客誘致を進めているが、コロナ禍で、イベントの中止、移動の制約により観光交流人口は減少している。5類への移行に伴い回復が見込まれるが、観光交流の拠点となる大型施設の運営継続が困難な状況となっている。 ・コロナ禍で、長泉わくわく祭りなど町主催のイベントが中止となり、併せて民間イベントも中止となった。５類への移行に伴い、町イベントを再開するとともに、新型コロナを機に事業内容の精査、新たな仕組みを構築する必要がある。民間イベントには、にぎわい交流イベント支援事業費補助金を創設し、新たな活動を支援している。 ・つるべ落としの滝ハイキングコース等は、近年の異常気象により、歩行空間の減少、落石等が発生し、気軽に楽しめるコースを維持することが難しくなっている。
施策分野における 改革・改善内容 及び今後の見通し	・第３期観光交流ビジョンに基づき、友人知人を招きたくなる魅力的なまち、住み続けたいまちへと磨き上げる長泉町ならではの観光交流を推進していくため、観光ビジョン推進会議で進捗管理等を行う。 ・パークゴルフ場や鮎壺公園など観光資源となる施設整備が進められており、既存観光資源と合わせて、民間イベントと連携するなど観光資源の活用を進めていく。 ・コロナ禍における既存イベントの再開、下土狩駅前コワーキングスペースと連携した新たな民間イベントの開催支援を行い、まちのにぎわいを創出していく。